※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	工業管理技術	単位数	2～8 単位	年次	3～4 年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

企業の組織全体としての経営・管理と、工場における運営・管理に関する知識と技術を習得させ、将来の産業現場において実際に活用する能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

工業生産の運営と管理に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生産管理, 生産管理のPDCAサイクルとは何か。生産形態にはどのようなものがあり、生産計画はどのような計画によって構成されているか。特に各図表は、どのような目的で作成されるのか。また、工程管理は、どのような内容で構成され、統制機能があるか等について関心をもち、意欲的に学習に取組み、学習態度は真面目であること。	生産管理の体系、生産管理のPDCAサイクルから概要を判断できる。 受注生産と見込生産、個別生産と連続生産を比較しそれぞれの特徴を考察できる。 生産計画を構成している、手順計画、日程計画、在庫計画、工数計画、材料計画の目的・効果を類推し考察できる。 生産管理サイクルを短く、早く、強く回すことの重要性について各管理の統制の手法を考察できる。	産業界における受注生産と見込生産、個別生産と連続生産の内容を調査し、レポートを作成したり、発表したりすることができる。	生産形態から受注形態, 生産量と品質、生産方式の概要が理解できる。 生産管理の歴史から、各生産方式の概要を理解している。 生産計画の機能、手順計画、日程計画、在庫計画、工数計画、材料計画の目的、内容を理解し、作成に関する知識が身についている。 工程管理に関する統制機能、重要性について理解し、生産情報の収集・処理を適時・的確に行う知識を身につけている。
評価方法	①　ノート、課題提出等で評価する。 ②　授業中の質問の応答程度等で評価する。 ③　出欠状況・忘れ物等についても評価する。	①授業中の注意力・熱意の程度で評価する。 ②　授業中の態度を評価する。	指導内容のまとめとして、ペーパーテスト、レポート等により評価する。	各定期考査にもとづいて評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第1章　職業と産業 第2章　企業のしくみ	1 職業とは 2.産業とは 3.製造業とは 1.企業とは 2.管理組織 3.管理業務	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	a: 職業や産業・企業に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: 職業や産業・企業に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 職業や産業・企業に関する課題が正確に作業できた。 d: 職業や産業・企業の意義や役割を理解しているか。	出席 授業態度 レポート 考査
後期	第3章　工業管理技術の概要 第4章　生産管理	1 製造業のしくみ 2.工業管理のしくみ 1.生産管理の役割と意義 2.生産形態 3.生産計画 4.工程管理	◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎	a: 製造や生産管理に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。 b: 製造や生産管理に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 製造や生産管理（特性要因図など）に関する課題が正確に作業できた。 d: 製造や生産管理の意義や役割を理解しているか。	出席 授業態度 レポート 考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。